

阪本浩子 流れ谷抒情を読む

～中田重顕さん作品と、岩本萬壽生^{ますお}さんの個人誌より～

矢の川峠に源を発する大又川流域の飛鳥や五郷。この静かな山あいの集落を、古来から「流れ谷」と呼びます。今回の朗読会は、その流れ谷出身の中田重顕さん、岩本萬壽生さんの作品を、朗読の名手、阪本浩子さんが心をこめて朗読します。

中田さんは新作のエッセーや短編小説、岩本さんは個人誌「ある農民のひとりごと」から作品を選んで、坂本さんに読んでいただきます。当日は阪本さんのお嬢さん、岡出睦美さんのエレクトーン演奏がつかます。

場所は熊野市木本町の旧家、紀南ツアーデザインセンターです。私たちの故郷の情景を思いながら、朗読と音楽で、懐かしいひとときをお過ごしください。

■朗読 阪本浩子氏（三重県南牟婁郡御浜町）

昭和17年生まれ。元有線放送アナウンサー。現在各種催し司会や学校での読み聞かせ運動で活躍。中田重顕作品を朗読して、二人で講演活動にも従事し、その透徹した語りは多くの人の心をとらえている。お嬢さん、岡出睦美さんは現在木本町でエレクトーンを教えている。



■作者 岩本萬壽生氏（三重県熊野市飛鳥町小阪）

昭和8年生まれ。農家に育ち、若い頃より農業や父親に付いて山仕事を手伝った。現在は、故郷飛鳥の風習伝統を大切にしながら生活をしながら文章にし、昨年個人誌「ある農民のひとりごと」を出版した。生活に根ざしたその文章は多くの人の心を打つ。



■作者 中田重顕氏（三重県熊野市久生屋町）

昭和17年中国東北地方（旧満州）生まれ、飛鳥町育ち。三重文学新人賞、第10回鳥羽マリン文学賞大賞などを受賞。著書に「たそがれ、サムの婆と」「観音浄土の海」。おもに熊野を題材にした小説、エッセーを書いている。



■日 時 平成24年4月22日（日） 午後1時30分～

■場 所 紀南ツアーデザインセンター

■定 員 約50名

■お申し込み締め切り 開演日の前日まで受付いたします。

■入 場 料 300円

◇お申込方法 電話、もしくは別紙の申込書に必要事項を記入の上、ファックス、郵便またはEメールでお申込みください。



紀南ツアーデザインセンター：担当 小山

〒519-4323 三重県熊野市木本町517-1

電話 0597-85-2001 fax. 0597-89-3210

メール：kinan-tdc@nifty.com ホームページ：<http://homepage3.nifty.com/kinan-tdc/>